

近代英語協会ニューズレター

2019年(令和元年)12月27日

近代英語協会事務局分室

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池 12

愛知学院大学文学部前田研究室内

協会ホームページ <http://www.modernenglish.jp/index.html>

電話: 0561-73-1111(内線 3264)

年会費振替口座 00810-9-5821

1 就任のご挨拶

本年5月、近代英語協会は創立37年目に入りました。日本学術会議の学術研究協力団体として順調に歩んでいます。これも偏に会員の皆様のご支援の賜物と心得ます。これからも、先達や会員の方々が築いてこられた協会を右肩上がりに保ちつつ、日本における近代英語研究と英語学研究全般が隆盛を極めるよう、事務局一同心血を注ぎたいと存じます。倍旧のご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

会長 中村不二夫(愛知県立大学) 事務局長 前田 満(愛知学院大学)
財務 横越 梓(名古屋工業大学) 編集幹事 船田佐央子(福岡大学)
編集幹事 鈴木大介(摂南大学) IT管理 柳 朋宏(中部大学)

2 近代英語協会第37回大会について

第37回大会は、2020年6月27日(土)に、南山大学において開催されます。シンポジウムは、“How the peripheral survived the age of standardization: Three diachronic cases in the history of English”(「周辺表現はどのように英語標準化時代を生き抜いたのか—3つの事例から考える—)」という共通テーマの下、司会・講師として柴崎礼士郎先生(明治大学教授)、講師として、堀田隆一先生(慶應義塾大学教授)、渡辺拓人先生(関西学院大学助教)にご発表いただきます。

また、特別講演は、近・現代英語のコーパス言語学とクレオール研究で名高い、ドイツ連邦共和国フライブルク大学のChristian Mair教授をお招きします。氏は、講演・口頭発表を除き、120点を越える業績を有する方で、2010年以降だけでも、単著5、共著4、著書分担執筆27、論文19を公刊し、精力的に活動しています。E. C. Traugott, D. Denison両氏の後を受け、The International Society for the Linguistics of Englishの第3代会長を務めました。当日は、“Ongoing change in Modern English: new language, new corpora, new concepts”と題する講演をお願いしてあります。また、氏には朝一番から大会に参加いただき、午前の部のシンポジウムを盛り上げていただくために、質問およびコメントをお願いしてあります(そのため、シンポジウムの司会・講師の3人には、英語による発表と、日本語によるまとめをお願いしてあります)。また、空き時間には、氏の著書を持参された会員の皆様の本に、直筆でサインしていただけるようお願いしてあります。氏に関する情報は、次のURL(https://www.researchgate.net/profile/Christian_Mair)をご参照ください。

また、大会閉会后には、会場近くで懇親会も予定しております。全国的に宿泊施設が不足傾向にある昨今ですので、遠方からお越しの方はぜひお早めの宿泊施設のご手配をお願い致します。

個人研究発表の締め切りは2020年1月31日(金)となっております。大会での研究発表をご希望の方は、(a) 発表題目と400字程度の要旨、(b) 氏名・所属・職位・略歴・連絡先(住所、電話番号、Eメールアドレス)・大会発表助成金希望の有無(※参照)を別文書として作成し、下記の(ア)、(イ)いずれかの方法でご応募ください。

なお、本協会の趣旨により、発表内容は近代英語の研究、あるいは近代英語を含む英語の歴史的研究に資するもの、ということをお願い致します。

(ア) Eメール添付による応募

- ・ (a) 特殊文字を使用される場合はMSWord 文書、及びそのPDF ファイルを添付
- ・ (b) 特殊文字を使用されない場合はMSWord 文書のみを添付

宛先 m-maeda@dpc.agu.ac.jp

(イ) 郵送による応募

- ・ (ア) の (a) または (b) のいずれかを記憶した CD-R
- ・ 打ち出し原稿

宛先 〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池 12

愛知学院大学文学部 前田 満

※ 大会発表助成金制度について

本協会では、大会参加への費用を軽減し、若手研究者を中心に大会発表を奨励するため、大会発表助成金制度を設けております。助成対象となるのは、発表を行う大学院生・常勤職のない会員（発表を行う年の4月1日時点で満37歳以下または修士号取得後10年以内で、所属機関等より大会会場への交通費の補助を受けていない者）とさせていただきます。また、助成金額は、自宅から大会会場までの国内交通費（往復）とし、交通費の計算は協会事務局の方でいたします。なお、申請方法は、大会発表の受理後に、申込用紙（発表応募時に希望を明記）に詳細を記入し、事務局にご提出下さい。多くの発表の応募をお待ちしております。

3 『近代英語研究』第36号の発行について

5編の論文、3編の研究ノート、3編の書評のご投稿がありました。ご応募いただきありがとうございます。編集委員会の厳正なる審査結果は次のとおりです。2020年6月の発行を目指して、現在編集作業が進められております。

	論文	研究ノート	書評
掲載可	0	1	2
再審査	3	0	1
掲載不可	2	2	0

4 『近代英語研究』掲載論考の転載（および刊行）許可申請手順について

『近代英語研究』に掲載済みの全ての論考の著作権につきましては、本協会に属するというご理解いただきたいと思っております。ただし掲載済み論考を著者の方がご自身の学位論文へ転載を希望される場合、あるいは、その論考が転載された学位論文の刊行を希望される場合もおありかと推察されます。そのような場合につきましては、編集幹事宛に所定の許可願をご提出いただければ、協会から許可書を発行させていただきます。ご希望の方には申請書をお送りいたしますので、論文投稿用のメールアドレス(mode.assoc@gmail.com)までEメールにてご連絡お願いいたします。

5 『近代英語研究』投稿規定の趣旨について

大会個人研究発表の趣旨と同様に、『近代英語研究』投稿におきましても、協会趣旨を明確に反映するために、既に第35号より論文および研究ノートの趣旨について、以下の通り改定がなされておりますので、今後ともご承知の上で、ご投稿をお願いいたします。

論文の趣旨：

近代英語の研究、あるいは近代英語を含む英語の歴史的研究に資する内容のものであり、未発表の論文であること。先行研究を十分に参看し、確かな研究テーマを設定し、精緻な分析を行い、明確な根拠に立脚し、新しい知見に富んだ独創的論考であること。

研究ノートの趣旨：

近代英語の研究、あるいは近代英語を含む英語の歴史的研究に資する内容のものであり、未発表のものであること。確かな研究目的を示し、その学問分野における新しい知見、展望ないしは方向性を予感させる内容を含んでいること。

6 『近代英語研究』第 37 号の投稿締め切りについて

第 37 号 (2021 年 6 月発行) 投稿締め切りは 2020 年 9 月 15 日 (火) となっております。ふるってご応募ください。審査はすべて匿名で行われます。応募要領については、協会ホームページに掲載の最新の「投稿要領」あるいは協会誌第 36 号 (2020 年 6 月発行) に掲載される「投稿規定」をご覧ください。

特に、従来と以下の点が異なっていますのでご確認ください。

- ・「投稿規定」に定める、総字数の数え方の補足説明の追加および投稿前の留意点の追加
- ・「執筆者情報ファイル」の様式の変更 (研究対象分野、研究対象キーワード等の記載欄を追加)

ご投稿の際は、必ず原稿および執筆者情報を論文投稿用メールアドレス (mode.assoc@gmail.com) まで 2 つの別々の電子ファイルでメール添付にて送付してください。打ち出し原稿のご送付はお控えください。

なお、英語論文に関して、英語を母語としない投稿者については投稿前に必ずネイティブ・スピーカーによる原稿のチェックを受けた上でご応募ください。また、学会誌への二重投稿はお控えください。

7 近代英語協会最優秀新人賞ならびに優秀学術奨励賞について

賞には、最優秀新人賞と優秀学術奨励賞の 2 種類があります。若手による当該年度の掲載論文の中から、前者は特に優秀な論文に、後者は、最優秀新人賞には至らないが将来性があり優れていると評価された論文に与えられます。最優秀新人賞には表彰状と記念品が、優秀学術奨励賞には表彰状が授与され、その荣誉が讃えられます。

選考対象は、「協会誌への掲載が可となった、投稿締切日時点で 37 歳以下の、または修士号取得後 10 年以内の執筆者による論文です。選考希望の意思表示のため、論文投稿の際、「執筆者情報ファイル」内の項目 3 の該当欄に「○」をご記入ください。

8 『近代英語研究』電子アーカイブ化

J-STAGE (独立行政法人科学技術振興機構) に、『近代英語研究』が電子アーカイブ化されております。パソコン等でサイトにアクセスすると、創刊号から第 24 号 (2008) までの論考を、現在ご参照いただけます。近代英語協会ホームページ <<http://www.modernenglish.jp/index.html>> 左下の「協会出版物」からのリンクが便利です。

なお、第 25 号 (2009 年発行) 以降の論考については、現在掲載の準備を行っております。また、『近代英語研究』の冊子と同様に、すべての著作権は本協会に帰属することをご了解いただきたく存じます。

9 ホームページの図書紹介欄について

会員の皆様が出版された文献を本協会のホームページでご紹介いたします。その際、自薦、他薦は問いません (他薦の場合は著者の了承を得てください)。紹介したい著書 (翻訳本も可) のタイトル、表紙の写真、および紹介文 (800 字程度まで) を添付し、IT 管理の柳朋宏先生まで電子メールでお送りください。なお、書籍の実物の事務局への送付はお控えください。

10 会費納入のお願い

近代英語協会は、皆様の会費により運営されております。会費が未納の方は、恐れ入りますが、速やかにご入金くださいますよう、お願い申し上げます。なお、3年間未納の場合は、規定により退会となりますのでご注意ください。12月27日時点において会費の未納がある場合は、振込用紙を同封いたします。行き違いの場合はご容赦ください。

11 終身会員制度の導入について

2019年度より終身会員制度が導入されます。申込資格は次の(1)、(2)のいずれかとなります。

- (1) 66歳以上、または当該年度中に66歳になる会員で、過去10年間会費を全納した会員
- (2) 顧問として承認された会員

なお、申請の際には、所定の申請書を提出し、終身会費3万円を払ってください。申請用紙、ならびに払込用紙は事務局長（前田）までご請求ください。申請された年度より年会費は不要となります。また、終身会員は大会の懇親会に無料で参加できることといたします。

12 所属、および連絡先通知のお願い

所属、および連絡先（住所、Eメールアドレス等）に変更があった場合は、速やかに事務局長（前田）までお知らせください。学生会員の方が学生の身分を終えられた場合も、会員種別が「学生会員」から「一般会員」へ変更となりますので、お知らせください。

なお、大会案内と年2回のニューズレター（夏号は『近代英語研究』同封）の他にも、事務局からご連絡を差し上げることがございます。その場合、Eメールをお送りしますので、新しい所属、および連絡先を通知いただく際は、できる限りEメールアドレスを添えてください。

13 事務局より

本年10月から本協会会長が菊池繁夫先生から中村不二夫先生へと交代いたしました。それに伴いまして、事務局長以下事務局も交代となりました。約3ヶ月がたちましたが、大学の方でも今年度いっぱい学部の教務主任の任期が残っており、そちらでもけっこう忙しい中、事務局の慣れない仕事や不測の事態の連続で、かなり翻弄されている現状です。それに負けずに、会長をはじめ執行部の皆さんと力を合わせ、会員の皆さんに喜んでいただけるよう、尽力してゆく所存です。今後も、会員の皆様からの暖かいご支援をお願い申し上げます。

なお協会に関するお問い合わせは、下記の連絡先までお願い致します。

- 協会誌について
船田佐央子 鈴木大介 (mode.assoc@gmail.com)
- ホームページについて (会員の出版された図書紹介もお寄せください)
柳朋宏 (yanagi@isc.chubu.ac.jp)
- 会費について
横越 梓 (yokogoshi@nitech.ac.jp)
- その他全般について
前田 満 (m-maeda@dpc.agu.ac.jp)

— 事務局長 前田 満
良い年をお迎えください。